

特別非営利活動法人 子ども健康フォーラム  
近畿大学医学部附属病院  
マニユライフ生命保険株式会社

療養患児に心のケアを提供する、本格的なモデル・プレイルームを目指して  
ー子どもの療養環境改善のための特別支援プロジェクトー

## 近畿大学医学部附属病院『マニユライフわくわくるーむ』

4 月 1 2 日オープン

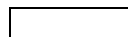
近畿大学医学部附属病院(院長 塩崎 均)が、特別非営利活動法人(NPO)「子ども健康フォーラム」(理事長 田邊 穰)の支援協力を得て同病院小児病棟内に開設準備を進めていた、療養患児に心のケアを提供するための本格的な新プレイルーム『マニユライフわくわくるーむ』がこのほど完成し、4月12日(土)をもって正式オープンの運びとなりました。

「子ども健康フォーラム」の専門的経験、ノウハウに基づく『マニユライフわくわくるーむ』開設支援は、同 NPO 法人がマニユライフ生命保険株式会社(代表執行役社長兼 CEO クレイグ・ブロムリー)の特別協賛を得て進めている『マニユライフわくわくるーむ』特別支援プロジェクトにより行われたものです。

入院・療養中の子どもたちをとりまく環境については、治療のストレス軽減のため、医療行為から離れた安心できる空間、他者との関わり合いの中で社会性を育む機会の提供など、療養環境の充実はもちろんのこと、退院後、地域社会に適應できるように生活能力を向上させるために、子どもたちに「遊びの場」を保障し、その環境を整備することが必要といわれており、いわゆる「プレイルーム」がその中核施設と位置づけられます。しかし、国内の小児医療施設ではプレイルームが設置されていても、十分な機能を果たす運用例が少ないのが現状です。治療生活で過度なストレスを受けたり、退院後の地域社会復帰に際して適應に苦悩する子どもと家族は少なくありません。

『マニユライフわくわくるーむ』プロジェクトは、療養中の子ども達の心のケアのための中核施設としてのプレイルームの意義を啓発し、運用の充実・質的向上を促進するモデル・プレイルーム設置・運営を支援するもので、昨秋支援先候補を全国に公募し、応募のあった23病院から近畿大学医学部附属病院と愛知県の豊田厚生病院の2施設を支援先に選定していました。

近畿大学医学部附属病院の「マニユライフわくわくるーむ」は、今後、療養中の子どもたちに心のケアを提供するのに加えて、本格的なプレイルーム運用のモデル施設としての啓蒙・啓発効果も期待されています。



## ■近畿大学医学部附属病院『マニュアルわくわくる一む』概要

近畿大学医学部附属病院では57病棟が小児専門病棟として、機能しています。この小児病棟は以前は成人と小児の混合病棟であったためか、プレイルームはナースステーションの前で落ち着かないガラス張りとなっており、入口に段差があり入りにくい場所となっていました。今回「マニュアルわくわくる一む」に応募するに当たり、病院側で使用している病室2床室をプレイルームに変更し、内装及び扉の付け替えをすることを決断しました。

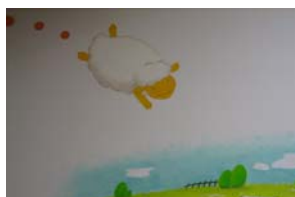
「マニュアルわくわくる一む」となる部屋(内法面積31.2㎡)は、半円形の病棟の南西端にあり、チーズのような平面でアーチ型の窓とトイレがついています。窓についている鉄柵は木柵となり、トイレの扉は子どもも開けやすい軽い引戸となりました。明るい木目調の内装におもちゃの鮮やかな色取りが「わくわく」した雰囲気を作りだしています。薄暗い廊下に面した扉も引戸となり、その周りには羊がジャンプしている「マニュアルわくわくる一む」の看板、チーズのついた掲示板、壁に取り付いたおもちゃと絵本コーナーがつけられました。



＜改修前の病室の様子＞

部屋の中は、ままごとやお店やさんごっこといった「ごっこ遊び」、レール遊びや積み木やパズルといった「構築遊び」、カードゲーム、ボードゲームなどの「ルール遊び」、お絵かきや工作などの「制作遊び」といった子どもの発達段階にあわせて遊びこめるように、コーナーづくりをしています。中央にあるテーブルは子どもたちが居場所を確保しやすい六角形のテーブルと、色とりどりの椅子としました。不安を感じて入院している子どもと親への心の安らぎの提供と、子どもの発達成長への支援を目的に、毎日9時～19時この部屋は開かれています。当初保育士2名にて管理運営を行い、今後さらに充実させていく予定です。

改修された  
マニュアル  
わくわくる一む



ひつじ



入口まわりのデザインとおもちゃ



ごっこ遊びのコーナーと木柵



ルール遊び・構築遊びのコーナーと壁画

# マニユライフ わくわくルーム



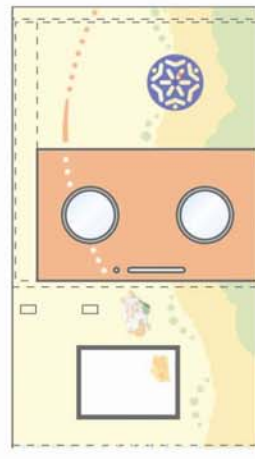
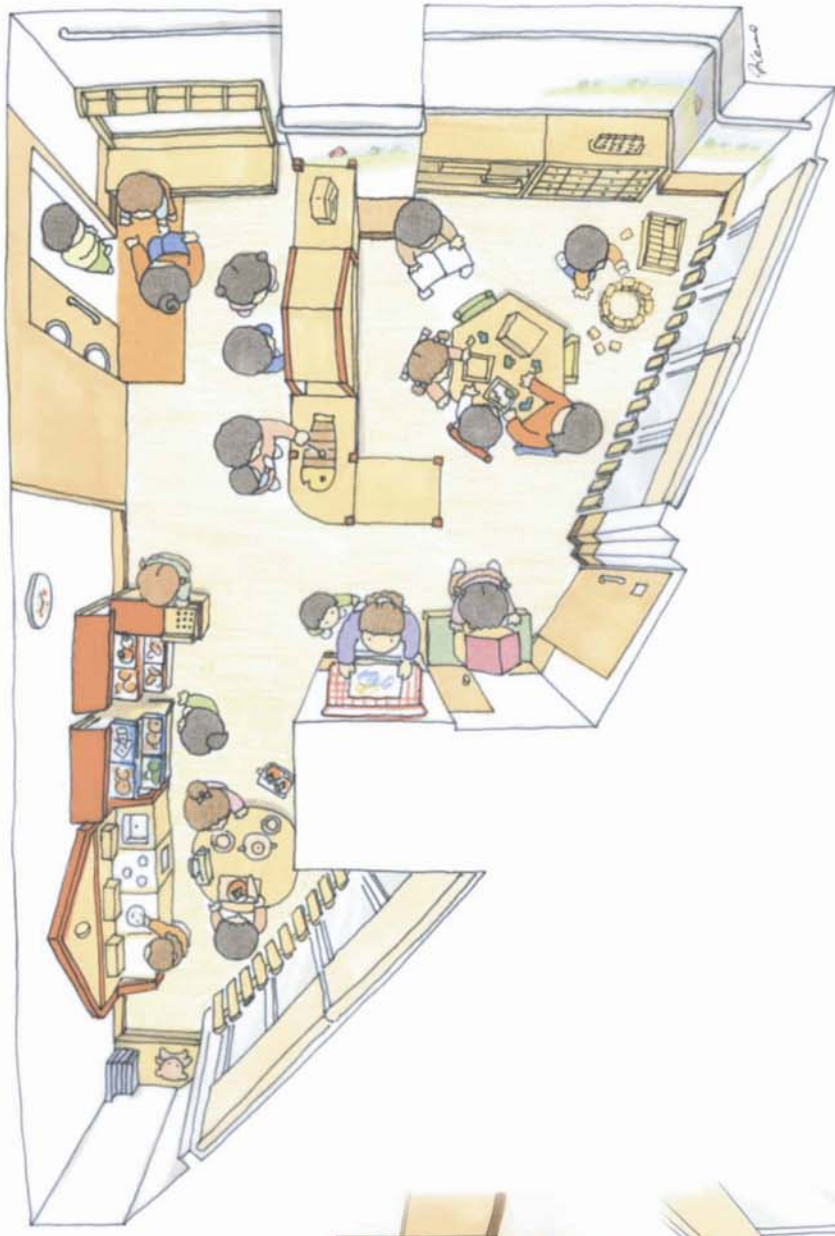
ごっこ遊びコーナー



構築遊び、ルール遊びコーナー



わくわくの一む全体図



わくわくの一む入口まわり



(ご参考資料)

### 『マニユライフわくわくる一む』プロジェクト』とは

カナダをはじめとする欧米の小児医療先進国に比べても遜色ない施設、運営方式を取り入れた、国内で最も先進的な小児専門病院のひとつとして知られている愛知県立あいち小児保健医療総合センター（愛知県大府市）に設置されて現在運用中のプレイルーム「わくわくる一む」をモデルとして、新規に導入を希望する全国の小児医療施設に、マニユライフ生命からの寄付金をもとに、理想的なプレイルーム『マニユライフわくわくる一む』設置・運営を支援するものです。先月2月25日には豊田厚生病院（愛知県）への贈呈式を行い、運営を開始して頂いております。

### 近畿大学医学部附属病院について

昭和50年の開院以来、「人に愛され、信頼され、尊敬される人を育成する。」という大学の教育理念のもとに、患者様本位の明るい病院を目指し医療行為に取り組んでいます。平成6年には高度の先進医療を行う特定機能病院として厚生省（現厚生労働省）に認定、平成16年には日本医療機能評価機構から施設認定を受けています。診療科目27科、一般病床数1000床の総合病院です。小児病床数は49床。長期入院の子ども達が多いことから、現在保育士2名の体制となっています。

既存のプレイルームを見直し、より子ども達の遊びや視点に合った環境づくりを目指して、この度、一般病室をプレイルームに改装し、「マニユライフわくわくる一む」を設置することになりました。

### NPO「子ども健康フォーラム」について

「子ども健康フォーラム」は、未来のある子ども達に、その胸に夢と希望がもてるような環境を整えることが必要・不可欠であるという考えを持っています。日本有数の先進的小児専門病院の「あいち小児保健医療総合センター」（愛知県大府市）をはじめとする小児医療諸施設の装飾支援、プレイルーム支援、子どもの健康に関する施設でのイベント開催支援等を行っています。病児やその家族が癒され、勇気をもって治療を受けられる手助けとなる病院の環境づくりは、高い社会的評価を受けているところです。（ホームページアドレス <http://www.npo-cln.org/>）

### マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社（「マニユライフ生命」）は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業で、世界的な格付け会社スタンダード&プアーズ社から、最高位の保険財務力格付けである「AAA」を取得しています（2008年3月末現在）。

マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界19ヶ国・地域で数百万のお客様にサービスを提供している金融サービスのリーディング・グループです。カナダおよびアジア地域では、マニユライフ・ファイナンシャルとして、また、米国においては、主にジョン・ハンコックとして事業を展開し、同社職員、エージェントおよび販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じて、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスを提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2007年12月31日現在3,960億カナダドル（4,010億米ドル）となっています。

マニユライフ・ファイナンシャル社は、格付け評価を得ている生命保険子会社が、スタンダード&プアーズ社の最高位格付けである「AAA」を取得し、上場している保険会社の、世界で2社のうちの1社です。マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「0945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ（[www.manulife.com](http://www.manulife.com)）をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。（[www.manulife.co.jp](http://www.manulife.co.jp)）